

塗装基準

| 商品名 | 系統 | 荷重 | 色相 | つや | 塗り面積/缶あたり /1工程 | ポットライフ |
|-----------------|-------------------|---------------------------|----|--------------------------|-------------------|--|
| アブラウドシェラスター-NEO | 超高耐候超低汚染水性2液形無機塗料 | 16kgセット 塗料液14kg、硬化剤2kg | 各色 | つや有り 7分つや有り 5分つや有り | 88~114㎡ | 4時間以内(25~35℃) 6時間以内(15~25℃) 8時間以内(5~15℃) |

| 外壁素材 | 適用シーラー(下塗り) | | 適用下地調整塗材・主材(中塗り) | |
|------------------|---|-----------------------|---|---|
| | 微弾性 | 弾性 | 硬質 | 弾性 |
| コンクリート・モルタル・ALC面 | アンダーフィラー弾性エクセル ※1・2 | DANフィラーエポ ※1・2 | タイラックEMA-Sベース100K ※2 タイラックEPO-Sベース ※2 タイラックシリカ-Sベース ※2 | DANタイル中塗 ※2 DANエクセル中塗 J ※2 |
| | 水性カチオンシーラー ファイン浸透シーラー 浸透性シーラー I液浸透シーラー | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| 鉄部・アルミカーテンウォール | ハイボンフィンプライマーII | | | |

※1, 新設の場合はシーラーの塗装が必要です。塗り替えの場合、下地(旧塗膜)の状態によってはシーラーの塗装が必要です。また、別途下地改修工事が必要な場合があります。
※2, JIS規格(A6909, A6021)相当仕様になります。
※3, 新設でのPCパネル塗装(PCパネル工場ヤードでの塗装)には、乾燥養生条件や塗装仕様、PCパネルの扱い方、仕上げ方など現場塗装とは異なる注意点、管理方法がありますので、お問い合わせください。

施工上の要点・注意事項

つや消し系の製品では、はけ、ローラーでの塗装はムラが出やすくなりますので、スプレー塗装をおすすめいたします。
つや消し系の製品では、塗り過ぎや補修でつやムラが出やすいため、面を切って適量に塗装してください。
過剰塗布すると本来のつやが発現しないおそれがありますので、規定の希釈量を守ってください。
つや消し系の製品では、つや消し剤が沈降している場合がありますので、かきはんばいを用いて底面の沈降物を十分にかきはんばい、均一な状態でご使用ください。
つや調整品は塗物の形状、素地の状態、膜厚、色相、塗り重ね乾燥時間などにより、実際のつやと若干違って見える場合がありますので、塗り板見本を参考にし塗りをしてください。
つや調整品は、塗料液が分離しやすいので、よくかきはんばいながらご使用ください。防塵・防かび・抗菌効果は、塗膜を抑制するものです。既に繁殖している場合は、下地処理として除去および表面処理してから塗装してください。
塗物の構造、部位、塗装仕上げ形状、環境条件などの影響で、本来の低汚染機能が発現されない場合があります。
塗料を部分補修する際には、硬化剤の入れ忘れにご注意ください。汚染むら発生の原因になります。
絶えず結露が発生するよう用途、場所での使用は避けてください。著しい結露が発生する場所では、塗料中の水分成分が表面に滲出し、黄色い粘着物などとなって析出するおそれがあります。著しい結露が予測される場合は、塗装を避けるか、溶剤系塗料での塗装をおすすめ致します。
塗装後2~4時間以内など乾燥不十分な状態で降雨結露などがある場合や、低温、高湿度、通風の悪い場合には、濡れ、はく離、割れ、白化、シミが発生する恐れがありますので、塗装を避けてください。やむを得ず塗装する場合は、強制換気などで湿気分を飛ばすようにしてください。シミが発生した場合は乾燥後拭き取ってください。
色相によっては降雨、結露によって濡れ色になる場合がありますが、乾燥すると元に戻ります。
乾燥後の塗面に付いた汚れは、シンナーなどの溶剤では拭かず、せっけん水で洗浄してください。
スプレーノズルの先端は、時々水洗いをしてください。作業効率の低下および塗りむらの原因になります。
塗装直後から補修に人が触れるようなドアの一部や手すりなどは、皮膚の影響により塗膜表面の軟化が起こるおそれがあります。必要に応じて保護テープなどで接触防止を行ってください。
乾燥条件によっては塗膜表面に粘着を感じることがありますが、時間とともになくなります。
反応硬化タイプの塗料のため、使用後はけなどはできるだけ早く水で洗浄してください。固まった場合は、すみやかにラッカーシンナーで洗浄してください。
硬化剤は湿気や硬化しすぎで密着度が低下し、密着しにくくなります。

旧塗膜に発生したカビは、洗浄などで必ず除去し、清潔な面としてください。付着阻害をおこなっておく必要があります。
既存塗膜の層ごとの層間は、既存塗膜の塗装仕様でパターン合わせを行ってください。
風化面・剥込みの著しい下地では、ニッペ浸透性シーラー(新)、ニッペI液浸透シーラー、ファイン浸透シーラーをご使用ください。
塗装時のシーラーは、ウルトラシーラーIIIまたは水性カチオンシーラーをご使用ください。溶剤系シーラーのご使用は、旧塗膜の種類によっては溶剤彫れが発生することがあります。
シーリングの上記、劣化、ひび割れなどの損傷がある場合は、打ち直しをしてください。
腐食されやすい建材(軽集モルタル、ALC、高寒サイディング、発泡ウレタン使用建材など)を使用した「高耐熱型外壁」で、旧塗膜が弾性リシン、弾性スタッコ、アクリルトップなどの場合、塗り替え段階で既に旧塗膜が彫れていることがあります。そのまま塗装すると彫れがさらに拡大する可能性がありますので、完全に除去してください。また「高耐熱型外壁」に塗装する場合は、密着、水分、下地の状態、塗膜環境など複数の条件が重なること、建材の劣化、塗膜の彫れ、はく離が生じることがありますので、最寄りの営業所などにご相談ください。
素地は含水率10%以下、pH9以下となるように調整してください。
表面のこみ、ほこり、エプロンシース、レイタンスなどは除去し、目隠し、ジャンカ、コーリングジョイントなどは、樹脂入りセメントモルタルで平滑にしてください。
ALC面、多孔質下地、コンクリートブロック面など外部の素地において東側や西側などがある場合は、樹脂入りセメント系下地調整材(ニッペセメントプライマー、ニッペプライマー200)などで処理してください。(合成樹脂系マニキュアの使用は避けてください。)
内外壁の新設仕様の場合は、必ず下塗りシーラーを塗装してください。
素材にセメント成分などが使われている場合は、エプロンシースが発生するおそれがありますので溶剤系シーラーをご使用ください。
新設の押出成形セメント板、GRC板、フレキシブルボードなどは、下塗り材としてニッペ浸透性シーラー(新)、ニッペI液浸透シーラー、ニッペファイン浸透シーラーをお使いください。
塗装場所の気温が5℃以下、湿度が5%以上である場合、または換気が十分でなく結露が考えられる場合、塗装は避けてください。
塗料液と硬化剤の混合割合は、必ずまもってご使用ください。
塗膜性が発現しなかつたり、仕上がりや作業性が低下することがあります。
屋外の塗装で降雨、降雪のおそれがある場合、および強風時は塗装を避けてください。
塗装時および塗料の取り扱い時は、換気を十分にを行い、火気厳禁にしてください。
飛散防止のため必ず養生を行ってください。
シーリング面の塗装は、塗膜の汚染、はく離、収縮割れなどの不具合を起こすことがありますので行わないでください。やむを得ず行う場合は、シーリング材が完全に硬化した後に行うものとし、塗り重ね適合性を確認し、必要に応じて養生してください。

理を行ってください。また、ニッペプライドオフプライマーを下塗りすることで、可塑剤移行による汚染の低減が図れますが、シーリング材の種類、使用条件などによりはく離、収縮割れが起こることがあります。
立木、天端など長時間水が滞留する箇所では塗膜の白化、彫れなどが発生する場合がありますので、養生シートの設置方法などに配慮し、換気を促してください。
塗料は内容物が均一になるようによくかきはんばいしてください。薄過ぎは隠れい不足、仕上がり不良などが起こるため規定範囲を超えて希釈しないでください。上塗りしつた後、ブルー、グリーン系色相を使用する場合は、共色を下塗りしてから塗装してください。
濡れ色には必ず専用の原色をお使いください。
濃彩色や汚れた原色の場合、塗膜を強く擦ると色落ちすることがあります。衣服など接触する可能性がある部位には使用しないでください。なお、状況により常時接触するよう箇所には使用する場合は、ファインシリコンフレッシュクリヤーを上塗りに塗布してください。
大型壁面塗装では補修部分が白くつやがあります。使用塗料のロットは必ず控え置き、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法等の条件を同一にしてください。
はけ塗り仕上げとローラー仕上げが混在する場合、使用量、表面が異なるため若干の色相差がでますので、はけ塗りの部分は希釈を少なくして塗装してください。
ローラー塗りの場合、ローラーは同一方向に揃えるように仕上げてください。ローラー目により、色相が異なると見えます。
塗装方法により色相が多量に変化する場合がありますので、ローラー塗りは出来る限り入り隅まで塗ってください。
汚れ、傷などにより補修塗りが必要な場合があります。使用塗料のロットは必ず控え置き、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法等の条件を同一にしてください。
ローラー、はけなどは、はかの塗料での塗装に使用すると、ハジキなどが発生するおそれがありますので、十分に洗浄するか、専用でご使用ください。
可塑剤が多く含まれるビニル鋼板、塩ビミネート、プラスチック、ゴムパッキン、合成皮革、塩ビクロスなどへの直接塗装は避けください。また、これらの部材に塗膜が直接触れることがないようにご注意ください。
平滑仕上げや鋼面仕上げの場合は、素材や素地の状態によって、剥離や腐食によるピンホール、凹凸などを防止するため、PA工程や研磨工程が必要になります。
使用前に内容物が均一になるようによくかきはんばい、開封後は一度に使い切ってください。やむを得ず保管する場合は密閉してから冷暗所で保存し、速やかに使い切ってください。
大気中の浮遊鉄分が多い地域では、この鉄成分が塗膜表面に付着し、塗膜が赤褐色に変色しやすくなるおそれがあります。
製品の安全に関する詳細な内容については、製品安全データシート(MSDS)をご参照ください。

安全衛生上の注意事項(アブラウドシェラスター-NEO 塗料液/硬化剤)

● 本来の用途以外に使用しないでください。
● 使用前に取扱説明書を理解して、取り扱ってください。
● 必要な時は、環境への放出を避けてください。
● 取扱い後は、手洗いおよびうがいを行ってください。
● 適切な保護手袋、防護マスクまたは防護マスク、保護眼鏡/保護面罩、保護衣を着用してください。
● 必要に応じて個人用保護器具を使用してください。
● 飲み込んだ場合: 気分が悪い時は、医師に連絡してください。口をすすいでください。
● 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗ってください。次に、コンタクトレンズを着用している場合は外してください。その後、目洗浄を続けてください。
● 肌の刺激が続く場合は、医師の診断。半当てを受けてください。
● 取り扱った後、手を洗ってください。
● 粉塵、蒸気、カス等を吸い込んで気分が悪くなった時は、安静にし、必要に応じてできるだけ医師の診察を受けてください。
● 火災時は、危険なガス、煙または粉塵を吸い取ってください。
● 腫れた時、気分が悪いなどの症状がある場合は、医師に連絡してください。

● 塗料液が皮膚からこぼれた時には、必ず手を洗って皮膚を清潔にしてください。
● 塗料液が衣服からこぼれた時には、必ず着替えて汚れた服は洗濯してください。
● 施設して子供の手の届かないところに保管してください。
● 直射日光や水濡れは厳禁です。
● 塗料等の缶の積み重ねは3段までとってください。
● 日光から遮断し、換気の良い場所で保管してください。輸送中も50℃以上(スプレー缶の場合は40℃以上)の温度に暴露しないでください。
● 内容物/容器を廃棄する時は、国/地方自治体の規則に従って産業廃棄物として廃棄してください。
● 塗料、塗料容器、塗料具を廃棄するときには、産業廃棄物として処理してください。
● 容器、塗料具などを洗浄した排水は、そのまま地面や排水溝に流すことにより環境に影響を及ぼすおそれがありますので、排水処理場などの施設に持ち込むか、産業廃棄物処理業者へ処理を依頼してください。

● 上記の表示は一例です。色相などにより、表示とは異なる場合があります。
● 詳細な内容、表示例以外の商品については、製品安全データシート(MSDS)をご参照ください。
● 本商品は日本国内での使用に限定し、輸出される場合は事前にご相談ください。

| 危険 | 危険有害性情報 |
|----|--|
| | <ul style="list-style-type: none"> ● 強い眼刺激 ● 発がんのおそれの疑い ● 生殖能力または胎児への影響のおそれ ● 水生生物に有害(急性) ● 長期的影響により水生生物に有害 |

※本カタログの内容については、予告なく変更することがありますのであらかじめご了承ください。
本カタログの商品名・会社名は、日本ペイント株式会社・その他の会社、日本およびその他の国の登録商標または商標です。
© Copyright 2012 NIPPONPAINT Co., Ltd All rights reserved.
[サーモア]登録第5170956号は、日本ペイント株式会社が権利者の登録商標です。

● さらに詳しい情報は、専用Webサイトへアクセス

<http://www.nippe-powerfactory.com/thermoeye/>